

第 15 回植物病原菌類談話会

日時：平成 27 年 3 月 30 日（月）（大会 3 日目）18：30～20：30

場所：明治大学リバティータワー1階 1011 教室（日本植物病理学会 100 周年記念大会会場内）

コツ、コツ、コツ： 教科書には載っていない、知っているると便利な裏技編

植物病原菌類を取り扱ううえで、現場では機材がなく、教科書どおりのことができない場合が多々あります。こうしたときの対応として、知っているると機材がなくても菌の分離ができたり、作業が簡略化できたり、菌の観察が簡単にできたりするちょっとしたコツや裏技について講演者の方々に具体的な解説をしていただきます。

またこうした日々の診断、調査の中で、新病害を見つけたり、グローバル化に伴い、日本新産の菌が確認されることもあることから、新病害を報告するうえでの BLAST のコツについても解説していただきます。

そして農林水産省は平成 24 年に「重要病害虫発生時対応基本指針」を定めました。この指針では、植物病原菌の日本新産種を発見した場合、公表前に報告を行うなどの行政的対応が研究者に求められています。そこで、このような場合にどのように対応する必要があるのかについて具体的にご紹介頂き、質疑応答も含めてその理解を深めたいと思います。

講演内容：

進行 鈴木 幹彦（静岡県農林技術研究所）

1. 現場でできる病原菌採取のコツや裏技
荒川 征夫（名城大学農学部）
2. 研究室での菌分離や観察でのコツや裏技
森川 千春（石川県農林総合研究センター）
3. ToyS 顕微鏡撮影法と BLAST のコツや裏技
佐藤 豊三（農業生物資源研究所）

情報提供：

「重要病害虫発生時対応基本指針」に関わる対応について

後藤 慎（農林水産省消費安全局植物防疫課国内検疫班）

参加費：500 円（会場費および資料印刷費）。当日、会場にてお支払い下さい。

植物病原菌類談話会代表幹事：農業生物資源研究所遺伝資源センター

青木 孝之 TEL：029-838-7053 E-mail：taoki@nias.affrc.go.jp

問い合わせ先：植物病原菌類談話会 第 15 回コーディネーター

静岡県農林技術研究所

鈴木 幹彦 TEL：0538-36-1556 E-mail：mikihi_kol_suzuki@pref.shizuoka.lg.jp